

概 要 版

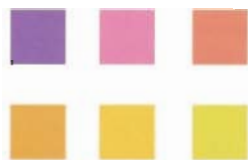
くまもとのスギの家づくりプラン

カ・タ・ロ・グ

木の家
私のこだわり



熊本県



はじめに

熊本で育った木材を使うということ

熊本の森林を元気にすることにつながります

私たちは、古くから森林の様々な恩恵を受けながら生活を営んできました。

森林から生産される木材で家を造り、木の箸や椀で食事をし、桐のタンスに着物を収めるというように、身の周りの多くのものに木材を利用し、地域固有の「木の文化」を造り上げてきました。

しかしながら、昭和30年代以降、わが国の社会経済体制の変化とともに、私たちの生活様式は大きく変化し、日用品をはじめとして身の回りで普通に使われていた木材は次第にコンクリートや、金属、化学製品へと変わってきました。

また、住宅においても消費者のニーズが多様化し、在来軸組工法に加え、プレハブ工法や大壁工法等の住宅が普及してきました。このため、無垢材の木材が表面に出ることが少なくなり、クロス張りや、合板等による内装仕上げが主流となってきました。このことから、木材の使用量が減少するとともに、木材を身近なものとして感じるものが少なくなってきました。

一方、森林は、木材を生産するばかりではなく豊かな地下水を育み、土砂崩れの防止や洪水の調整を行い、大気中の二酸化炭素を吸収することにより地球温暖化防止に重要な役割を果たす等環境財としての機能が大きくクローズアップされています。さらに、環境やシックハウス症候群など健康問題に関する県民の関心が大きな高まりを見せる中で、鉄やアルミニウムなどの資材に比べ環境に対する負荷の小さい木材を利用することが環境にも健康にも良い影響を与えることが次第に認識されるようになってきました。

このように、森林に対する期待や認識は変化してきているものの、本県の森林は木材需要の減少や材価の低迷など様々な理由により適切な整備がなされず、県民の期待に応えることが出来ない状態にあります。

森林を適切に整備し、県民の期待に応えうる「みどりの財産づくり」を進めていくためには、森林から生産される木材を利用し、植林を行うという一連の活動を繰り返し行う必要があり、森林の様々な機能を楽しんでいる県民一人一人が地域の木材を利用する「地産地消」を進めて行くことが大切であります。このことが、熊本の森林を元気にし、ひいては地球を元気にすることにつながります。

このたび、特に本県の森林資源（人工林）の約6割を占める“スギ”を使用した住宅づくりを進めていただくために、「くまもとのスギ」に携わる人々のこだわり・創意工夫により作り出される「くまもとのスギの家づくりプラン」を募集し、優秀賞に選ばれた12作品を冊子にまとめました。この冊子が広く活用され、県産木材を使用した住宅づくりに役立つことができれば、幸いです。





C O N T E N T S

No.1	杉の香を楽しむ普段着の家 安養寺 芳彦・佐藤 賢二郎・釜崎 修	1p
No.2	わたしんちの木で家をつくる 梅田 彰	2p
No.3	足固め構法でつくった「風の通る家」 梅田 忠臣	3p
No.4	陽だまりの家 川本 哲也	4p
No.5	アートいっぱいのパティオのある家 倉田 耕次	5p
No.6	癒やしの杉の住まい 合志 洋一	6p
No.7	微笑みがあふれる家 佐藤 大八	7p
No.8	双屋根の家 中野 和枝	8p
No.9	杉・使い100%の家づくり 中野 金治	9p
No.10	プレログ工法「1000本柱の家」 早田 允英	10p
No.11	杉三昧の家 古川 保	11p
No.12	日本の心が伝わる家 村田 明彦	12p

(50音順)

杉の香を楽しむ普段着の家

No.1

受賞者 安養寺 芳彦
佐藤 賢二郎
釜崎 修

一級建築士事務所アンヨウジ エンバイロメンタル ワークス
〒818-0121 福岡県太宰府市青山1-28-1 TEL.092-921-9506
(株)佐藤林業
〒862-8012 熊本市平山町3006-6 TEL.096-389-9586
(有)カマサキ建設
〒861-0161 鹿本郡植木町鞍掛1769-1 TEL.096-273-2852

身近な杉、伝統文化を支える工匠たちとのハーモニーが奏でる素朴な住い

熊本県の運動公園設計に携わっていた頃、地域的なものに思いを巡らしていました。

訪ねた木材団地の中では、棟梁が神社の組物を製作中。まさに伝統文化を継承する人々との出会いは、その地域でのしつらいと材料を考え、人々とのネットワークを大切に、といった原点回帰でした。

やがて、自らの暮らしの器を造るにあたり、熊本のスギと工匠たちにその思いを託すに至りました。(安養寺 芳彦)

● 建築概要

建築面積：70.6㎡
延床面積：115.9㎡
建築費：約1,700万円
(設計監理料含まず)
木材費：約400万円
木材使用量：33.2㎡
所在地：福岡県太宰府市

● 主な仕上

屋根：ガルバリウム鋼板瓦葺き
外壁：リシン吹付 一部杉板張り
(木材保護塗料塗)
内(床)：桧縁甲板張り
装(壁)：杉板張り、一部V-Emp
(天井)：杉板張り

● 設計施工等

設計者：一級建築士事務所
アンヨウジ エンバイロメンタル ワークス
安養寺 芳彦
施工：(有)カマサキ建設
釜崎 修
木材生産者：(株)佐藤林業
佐藤 賢二郎



柱・梁による線材、壁・天井の面的な扱いの組合せを意識した真壁の造りの中に、日常の生活があります。



深い軒の出、それを支える露出した軸組との協調を外観にデザインしています。



No.2

受賞者 梅田 彰

有限会社FU設計

〒862-0962 熊本市田迎5丁目7-6 TEL.096-214-8425

ひいじいちゃんやじいちゃんが植えた杉で建てた、みんなが集まる快適な住まい

三加和の伝統に従い、持ち山の木を使って家を建てたいという施主。

設計士、大工が施主とともに、木の伐採から家の完成まで、一丸となって取り組んだ家づくり。

土間玄関や広い木のテラスなど、施主の希望を採り入れた素敵な家になりました。

居ながらにして四季の変化が楽しめる空間に、自然と友だちが集まります。

● 建築概要

建築面積：150.92㎡

延床面積：179.00㎡

建築費：2,700万円
(設計監理料込み)

木材費：300万円

木材使用量：48.0㎡

所在地：三加和町

主な仕上

屋根：いぶし和瓦葺き

外壁：杉板、φ18大和張り、

ロングタイムエコー塗り、しっくい塗り

内(床)：杉縁甲板、φ40、エゴマ油拭き取り

装(壁)：杉板張り、H=950

土佐しっくい塗り、紙クロス貼り

(天井)：杉板張り

● 設計施工等

設計者：有限会社FU設計

梅田 彰

施工：落合建設

(工務店・大工) 落合 進

木材生産者：橋本製材所

(林業系・製材所) 荒木 和富



テラスデッキは外のリビング
子供達の格好の遊び場

正面の突き出した玄関で
建物がふたつに分かれる



足固め構法でつくった「風の通る家」

No.3

受賞者 梅田 忠臣 梅田建築

〒869-4403 泉村大字下岳4968-2 TEL.0965-53-4855

自然素材の色彩が映える、木の良さを存分に生かした伝統の和風建築

本物志向の施主に任されて、棟梁が選んだのが伝統的な足固め構法。

床下に風が通り乾燥するので、湿気の多い熊本には最適の工法でした。

丸太で買った杉を無駄なく使い、節も模様になしました。

黒芯材と漆喰の黒と白のコントラスト、赤土仕上げの淡い茜色、色彩も美しい和の住まいです。

● 建築概要

建築面積：121.27㎡

延床面積：121.27㎡

建築費：2,572万円
(設計監理料込み)

木材費：600万円

木材使用量：40.0㎡

所在地：小川町

主な仕上

屋根：和式瓦

外壁：竹小舞下地土壁塗り
シックイ仕上、下見板張り

内(床)：タタミ、エン甲板

装(壁)：竹小舞下地土壁塗り
ジュラク仕上、腰板杉巾広板

(天井)：杉巾広板、竿縁天井

● 設計施工等

設計者：梅田建築設計事務所

梅田 忠臣

施工：梅田建築

梅田 忠臣

木材生産者：(有)松崎製材所

松崎 悟



居間、天井、壁、床すべて板材を使用し赤土で着色オイル仕上、カウンター越しキッチン。

北側の道路より、主屋、玄関の外観。下見板は「あすなろ材」。



No.4

受賞者 川本 哲也

OMソーラー事業部(新産住拓株式会社)

〒861-4101 熊本市近見8丁目9-85 TEL.096-356-1500

太陽に育まれ、太陽で乾燥し、太陽のような暖かさにつつまれた杉の家

山に生えている間は空中の二酸化炭素を固定して、地球温暖化の進行を減らしてくれる杉。

伐採後は植林されて再び育つ、再生産可能な資源循環型建材が、熊本にはふんだんにあります。

地産地消を合言葉に林業家と製材所、住宅会社がタッグを組んだ、人と環境にやさしい住まいづくり。

自然素材にこだわる施主もまた、住むほどに杉の美しさに魅了されています。

建築概要

建築面積：75.81㎡

延床面積：1階67.68㎡、2階54.54㎡

延床面積122.22㎡

建築費：2,496万円

(設計監理料込み)

木材費：348万円

木材使用量：27.62㎡

所在地：熊本市

主な仕上

屋根：ガルバリウム鋼板

外壁：1階部分：サイディング+リシン吹付け

塗装、2階部分：ガルバリウム鋼板

内(床)：スギ板(厚)15mm

装(壁)：和紙・(洗面、トイレのみ珪藻土)

(天井)：スギ板(厚)30mm・(洗面、トイレ、

納戸のみ和紙)

設計施工等

設計者：新産住拓株式会社

川本 哲也

施工：新産住拓株式会社 藤掛 正道

(工務店・大工) 新産グループ棟梁 福田 國典

木材生産者：株式会社 泉林業

(林業家・製材所) 《有》緒方製材所・

新産住拓プレカット事業部



木質感あふれるコモンスペース(共有空間)
引き戸を多用することで、各空間がつながり
更なる広がりをもつ。

雑木林に囲まれた住まい、自然の樹木とモダンな建物外観のコラボレーション。



No.5

受賞者 倉田 耕次

(有)倉田設計

〒865-0052 玉名市松本42-1 TEL.0968-74-1768

自然が心地よい、美術の森のアートな館

アートな建物を望む、個性的な施主の家づくり。

それに呼応した建築家と木彫家、左官、大工のコラボレーションが炸裂しました。

光と風のハティオを開く室内には、手づくりのオブジェや調度が顔をのぞかせます。

心地よい杉に包まれた癒やしの空間は、まさにアートセラピーの器です。

● 建築概要

建築面積：140.10㎡
延床面積：132.63㎡
建築費：2,200万円
(設計監理料込み)
木材費：200万円
木材使用量：25㎡

主な仕上

屋根：カラーガルバリウム鋼板(ア)0.4(セ置き@350)ポリカホネート樹脂板
外壁：カラーガルバリウム鋼板(ア)0.4(セ置き@350)
内(床)：スギ板(ア)30mm等
装(壁)：スギ板(ア)9mm、土佐漆喰、はんだ仕上げ
(天井)：スギ材針葉樹合板サンドイッチパネル(ア)60mm

● 設計施工等

設計者：有限会社 倉田設計
倉田 耕次
施工：有限会社 第一新陽建設
(工務店・大工) 熊野 新助
木材生産者：株式会社 田中材木店
(林業家・製材所) 田中 信敬



伝統工法で作り出す自然素材のアートな空間。

パティオを囲んだリビングは杉の香りに包まれている。



No.6 受賞者 合志 洋一 心身健康木の住まいづくり研究会
〒868-0501 多良木町多良木1486 TEL.0966-42-2044

枝付きの柱や回廊テラスが、自然の「ゆらぎ」を醸し出す、心地よいリラックス空間

山林を所有する林業家の施主が、自宅の大改造でこだわったのは自然のある住まいづくりでした。

素材は、鎮静効果の高いスギ材を使用。

徹底的な話し合いで、施主も設計士も大工も横並びのプロジェクトが結成されました。

チャレンジを重ねた末に、自然のゆらぎを室内に取り込み、陰陽が調和した理想の住まいが実現しました。

● 建築概要

建築面積：253.60㎡
改修部分：218.70㎡
延床面積：251.98㎡
改修部分：217.73㎡
建築費：2,500万円
(設計監理料込み)
木材費：268万円
木材使用量：35.2㎡
所在地：多良木町

● 主な仕上

屋 根：カラーベストコロニアル
外 壁：杉板張り(t=12)、
自然健康塗料塗り
内(床)：杉板張り(t=40)
装(壁)：腰／杉板張り(t=12)、
壁／P.B下地漆喰塗り(食堂他)
P.B下地珪藻土塗り(リビング)
(天井)：杉板張り(t=12)

● 設計施工等

設 計 者：心身健康木の住まいづくり研究会会員
(株)アレン・コーポレーション 一級建築士事務所
河野 俊三
施 工：心身健康木の住まいづくり研究会会員
(工務店・大工) 甲斐建築 甲斐 忠馬
木材生産者：心身健康木の住まいづくり研究会会員
(林業家・製材所) 協同組合ニュー・ランバー・クリエーション
(有)合志林工社 合志 洋一



黒い桁、対照的な白い珪藻土壁、
無塗装の優しい杉壁と床。

生命にとって大切な睡眠にこだわり、熟睡と睡眠中の癒やしを促進させるために、ふんだんな杉と天井・壁・床下の木炭によって、部屋を包み込んでいる。



内と外(自然)の重要な接点となるテラス
中央部は、樹木が顔出す青空リビングルーム。



微笑みがあふれる家

No.7

受賞者 佐藤 大八

株式会社 喜太郎

〒869-5461 芦北町芦北2190番地 TEL.0966-82-3999

杉のやさしさに包まれた森林浴と、家族の気配が感じられる、なごみの住空間

家族の健康とやすらぎ、地球環境への配慮も考えて、自然素材にこだわった施工。

意気投合して、家づくりのプロデュースを担当した製材・木材業者。

大工を主役に、すべてが手づくりの伝統工法で、廃材も使い切ってコストを抑えました。

木の構造を見せる上部空間を通して、家族の気配が感じられる、木と紙と土でできた健康な家を実現。

● 建築概要

建築面積：68.40m

延床面積：156.96m

建築費：1,995万円
(設計監理料込み)

木材費：420万円

木材使用量：38.8m³

所在地：熊本市

● 設計施工等

設計者：川内建築設計室and喜太郎

川内 誠志

施工：(株)喜太郎

(工務店・大工) 佐藤 大八

木材生産者：(資)佐藤製材所

(林業家・製材所) 佐藤 大八

● 主な仕上

屋根：いぶし銀瓦

外壁：防火サイディング貼

ジョリバット塗仕上げ

一部レンガ張り

内(床)：33×138松厚板仕上

装(壁)：腰壁板張り上部

珪藻土仕上・一部和紙クロス

(天井)：杉厚板現し仕上げ

地中海をイメージした塗壁と
レンガの外観。



大黒柱(杉丸太)を中心に自然素材
に囲まれた空間。

No.8

受賞者 中野 和枝

中野かずえ設計事務所

T860-0862 熊本市黒髪6-4-24 TEL.096-345-4428

緑の光と風がふんだんに入る、心やすらぐ「自然と共生する家」

樹木の緑に囲まれて暮らしたい。

そんな施主の願いを叶えるべく、土地の制約を乗り越えて設計士が導き出したのが、双屋根の現代数寄屋造り。

伝統の技のふるいどころを得て、大工も魂を込めました。

やがて町の中に出現したのは、光にあふれる緑のオアシスのような家でした。

建築概要

建築面積：86.83㎡

延床面積：98.86㎡

建築費：2,000万円
〔設計監理料込み〕

木材費：230万円

木材使用量：28㎡

所在地：菊陽町

主な仕上

屋根：コロニアル

外壁：杉下見板 キシラデコール塗

内（床）：杉板 15mm

装（壁）：石膏ボード下地和紙クロス

（天井）：石膏ボード下地和紙クロス

設計施工等

設計者：中野かずえ設計事務所

中野 和枝

施工：大山建設

〔工務店・大工〕 大山 武則

木材生産者：田中製材所

〔林業家・製材所〕 田中 信穂



壁面引込みの障子を取り付けた緑光あふれるリビングダイニング。



高窓から南の陽射しが入る「北のブロック」の寝室。

木々が塀となったオープンな敷地。
北・西側の道路から双屋根の家をのぞむ。



杉・使い100%の家づくり

No.9

受賞者 中野 金治

〒861-0605 鹿北町大字多久2960-4 TEL.0968-32-3224

杉のムク材の特徴を生かした、地震や台風にも耐える快適な家

冬と夏の寒暖の差が激しく、台風の被害も大きい鹿北の地。

林業家が植え育てた50年杉が、地元で立派な家になりました。

自ら設計、施工もして、伝統工法を存分に駆使した耐震、耐風住宅に。

屋根板と床板にスギ板を張り、杉そのものを断熱材にした、冬暖かく夏涼しい快適な住まいの実現です。

● 建築概要

建築面積：186.3m²
延床面積：176.3m²
建築費：2,800万円
(設計監理料込み)
木材費：484万円
木材使用量：61.9m³
所在地：鹿北町

● 主な仕上

屋根：和型陶器瓦、下地40mm厚杉張り
外壁：真竹えつり下地、土壁漆喰仕上、
一部腰板壁縦板張外壁
内(床)：和室畳仕上、
装：ホール広エン桧板及び松板張り
(壁)：全体的に真壁京壁仕上、腰壁杉板貼り
(天井)：杉板半緑下地目透し貼り

● 設計施工等

設計者：松本住建松本建築設計事務所
代表 松本 隆明
施工：松本住建
(工務店・大工) 代表 松本 隆明
木材生産者：中野林業、製材一第3セクター
(林業家・製材所) 幸の国木材工業(株)
中野 金治



材料の重さと梁の組み合わせて
地震や台風に強い構造



葉枯しを入念に行い、しっかり自然乾燥させて、色つやも良く年輪が美しい良い材に仕上がりました。

寒暖の差が激しい山間部において、冬暖かくて夏は涼しい木造住宅を建てました。



プレログ工法「1000本柱の家」

No.10

受賞者 早田 允英 幸の国木材工業
〒861-0693 鹿北町大字芋生417-1 TEL.0968-32-3188

断熱・防音・耐震・耐火などにすぐれた、子孫に伝えたい「樹恩」の家

先祖から受け継いだ自宅を建て替えるに当たり、自分も100年以上もつ家をと決意した林業家。
誕生記念に祖父が植えたアヤスギを、還暦を過ぎた孫が伐採して家建てることになったのです。
壁や床に、スギ柱をぎっしり並べたパネルを使うプレログ工法で、地震や湿気に強い健康住宅が完成。
使った柱は約1000本になりました。

建築概要

建築面積：160㎡
延床面積：160㎡
建築費：2,800万円
(設計監理料込み)
木材費：550万円
木材使用量：100㎡
所在地：鹿北町

主な仕上

屋根：いぶし銀瓦
外壁：漆喰壁
内(床)：40×160杉厚板
装(壁)：103角連結壁
(プレログ工法)
(天井)：杉ムク板

設計施工等

設計者：入江建築事務所
入江 則行
施工：入江建築事務所
(工務店・大工) 入江 則行
木材生産者：幸の国木材工業(株)
(林業家・製材所) 西牟田 長



杉の建具に杉天井。



数寄屋造りの純和風住宅。

杉三昧の家

No.11

受賞者 古川 保

すまい塾古川設計室有限会社

〒861-4115 熊本市川尻4丁目10-5 TEL.096-357-0973

スギと白壁が美しく調和した、地球にやさしい自然素材の家。

既製品の家ではなく、自分自身で納得して設計した家。

施主のこだわりに設計者、大工、林業家が応えました。

家事台、食卓はもちろん、厨房セット、洗面台からトイレの紙巻器までスギ材による一品手づくり。

天然の木肌に漆喰壁が映えて、爽やかな自然の風がよく似合う住まいです。

● 建築概要

建築面積：82.02㎡

延床面積：134.60㎡

建築費：2,572万円
(設計監理料込み)

木材費：370万円

木材使用量：38㎡

所在地：大矢野町

● 主な仕上

屋根：いぶし瓦

外壁：漆喰壁

内(床)：桧(1F)杉(2F)

装(壁)：漆喰壁

(天井)：杉

● 設計施工等

設計者：すまい塾古川設計室(有)

古川 保

施工：(有)井上和建設

(工務店・大工) 汐見 一久

木材生産者：小国森林組合

(林業家・製材所)



杉の目視と漆喰のバランスをとった室内。



手前は厚さ6cmの杉のテーブル。
吹抜けなので床暖房を使用。



No.12

受賞者 村田 明彦

村田建築設計所

〒864-0231 玉名郡岱明町庄山836-A102 TEL・FAX0968-69-8311

携帯 090-7383-3980

家族の和が生まれ、自然との和を育む、和風モダンの住まい

古い日本家屋に生まれ育った施主が、同級生の設計士に頼んだのは、自然素材で造る和の家でした。

設計士がこだわったのは、厳しさと優しさを併せ持つ昔の家の暮らし。

大工であるその父が、昔ながらの工法で丁寧に形にしました。

モダンなデザインに和の心を宿した、木と土と竹の家の誕生です。

● 建築概要

建築面積：85.70㎡

延床面積：141.59㎡

建築費：2,534万円
(設計監理料込み)

木材費：340万円

木材使用量：40㎡

所在地：玉名市

主な仕上

屋根：日本瓦葺き

外壁：土壁下地・漆喰塗り及び桧板貼り

内(床)：桧板貼り(1F)スギ厚板仕上げ(2F)

装(壁)：土壁下地、漆喰塗り及び、杉板貼り

(天井)：スギ厚板現し仕上げ(1・2F)

● 設計施工等

設計者：村田建築設計所

村田 明彦

施工：有限会社・村田工務店
(工務店・大工) 村田 元成

木材生産者：熊本木材・幸の国木材
(林業家・製材所)



玄関から続く土間は、人とそして自然の出入り口です。



漆喰壁と柿波塗りの板壁のコントラストが、不思議と懐かしさと、モダンさの両面の佇まいを見せます。



くまもとのスギの家づくりプラン

カ タ ロ グ



お問い合わせ先

熊本県林業振興課木材流通対策室

〒862-8570 熊本市水前寺6丁目18番1号

TEL 096-383-1111 (内線5640・5641) FAX 096-381-8710

